

## 没後 100 年 中原悌二郎展 【展示室 A2 階】

北海道釧路に生まれた中原悌二郎（1888-1921）は、移り住んだ旭川や札幌で美術への傾倒を深め、絵画を学びます。21 歳の時に荻原守衛と出会い、ロダンがもたらした力感あふれる表現に感激し彫刻へ転向。重厚で力強い塑像表現を追求し、院展を中心に作品を発表すると、非凡な才能に注目が集まります。その後、病のため旭川での養家で療養生活を余儀なくされ

ながらも、制作への情熱は冷めず再上京。院展で受賞するなど評価が高まりつつあったさなか、32 歳の若さで没しました。道内各地の特色ある美術館を紹介する「アートギャラリー北海道」事業として開催する本展では、旭川市彫刻美術館、札幌芸術の森美術館の協力を得て、没後 100 年の節目に日本近代を代表する彫刻家・中原悌二郎の足跡を回顧します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
1	中原 悌二郎	忠別小学校	1914 (大正 3)	油彩・キャンバス	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
2	中原 悌二郎	櫛引英一像	1914 (大正 3)	油彩・キャンバス	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
3	中原 悌二郎	飯田復鹿像	1914 (大正 3)	油彩・キャンバス	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
4	林 竹治郎	朝の祈り	1906 (明治 39)	油彩・キャンバス	当館蔵
5	林 竹治郎	野の花・庭の花	(不詳)	油彩・キャンバス	当館蔵
6	林 竹治郎	桜島遠望	1939 (昭和 14)	油彩・キャンバス	当館蔵
7	林 竹治郎	積丹風景	1925 (大正 14)	油彩・キャンバス	当館蔵
8	林 竹治郎	霧島山脈	1940 (昭和 15) 頃	油彩・キャンバス	当館蔵
9	澤枝 重雄	明治天皇鹵簿函館英国領事館前通御 / 図	1939 (昭和 14)	油彩・キャンバス	札幌芸術の森美術館
10	オーギュスト・ロダン	眠れる女 (裸婦)	1887	ブロンズ	札幌芸術の森美術館
11	荻原 守衛	文覚	1908 (明治 41)	ブロンズ	札幌芸術の森美術館
12	荻原 守衛	坑夫	1907 (明治 40)	ブロンズ	当館蔵
13	中原 悌二郎	女の顔	1910 (明治 43)	石膏	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
14	中原 悌二郎	老人	1910 (明治 43)	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
15	中原 悌二郎	エチュード	1914 (大正 3)	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
16	中原 悌二郎	保田龍門像	1915 (大正 4)	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
17	中原 悌二郎	石井鶴三像	1916 (大正 5)	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
18	中原 悌二郎	墓守老人像	1916 (大正 5)	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
19	中原 悌二郎	乞食老人像	1918 (大正 7)	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
20	中原 悌二郎	憩える女	1919 (大正 8)	ブロンズ	札幌芸術の森美術館
21	中原 悌二郎	若きカフカス人	1919 (大正 8)	ブロンズ	当館蔵
22	高村 光太郎	裸婦坐像	1917 (大正 6) 頃	ブロンズ	札幌芸術の森美術館
23	戸張 孤雁	トルソ (女の胴)	1922 (大正 11)	ブロンズ	札幌芸術の森美術館
24	戸張 孤雁	虚無	1922 (大正 11)	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
25	保田 龍門	裸婦立像	1927 (昭和 2)	ブロンズ	札幌芸術の森美術館
26	石井 鶴三	中原氏像	1916 (大正 5)	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
27	堀 進二	中原悌二郎像	1916 (大正 5)	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

**北海道立近代美術館**  
HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART  
〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目 011-644-6882



## 近美コレクション

The Museum Collection

2022 (令和 4) 年 7 月 10 日 [日]—8 月 21 日 [日]

## 新収蔵品展 【展示室 A1 階】

令和 3 年度に新しく収蔵された作品を紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	井上 まさじ	untitled	2007 (平成 19)	アクリル絵具、糸・板
2	井上 まさじ	untitled	2007 (平成 19)	アクリル絵具、糸・板
3	福井 爽人	海蛟	1995 (平成 7)	紙本彩色
4	山本 正年	花生「窓」	1986 (昭和 61)	陶
5	山本 正年	印花紋花生	(不詳)	陶
6	杉山 留美子	作品 82-13	1982 (昭和 57)	アクリル絵具・キャンバス
7	杉山 留美子	HERE-NOW あるいは難思光 -B-	2011 (平成 23)	アクリル絵具・綿キャンバス 4 点組
8	野見山 暁治	遠い渚	1995 (平成 7)	油彩・キャンバス
9	野見山 暁治	ぼくの切れっばし	2000 (平成 12)	油彩・キャンバス
10	大井戸 百合子	秋の市場	1981 (昭和 56)	エッチング・紙
11	一原 有徳	(不詳)	2000 (平成 12)	モノタイプ、金属凹版・紙
12	清水 敦	鳩と枯花	1980 (昭和 55)	メゾチント・紙
13	菅井 汲	FESTIVAL1	1980 (昭和 55)	シルクスクリーン・紙 (アルシュ紙)
14	菅井 汲	FESTIVAL2	1980 (昭和 55)	シルクスクリーン・紙 (アルシュ紙)
15	菅井 汲	FESTIVAL3	1980 (昭和 55)	シルクスクリーン・紙 (アルシュ紙)
16	菅井 汲	FESTIVAL4	1980 (昭和 55)	シルクスクリーン・紙 (アルシュ紙)
17	元永 定正	のびるしろ	1981 (昭和 56)	シルクスクリーン・紙
18	ジョアン・ミロ	『20 世紀』	1972	リトグラフ・紙
19	ザオ・ウーキー	小さな庭	1956	リトグラフ・紙
20	マリノ・マリニー	(不詳)	(不詳)	エッチング・紙
21	ピエール・ボナール	『聖女モニク』	1930	リトグラフ・紙 (和紙)
22	コンスタンチン・テレスコヴィッチ	『3 つの短編』	1965	リトグラフ・紙
23	ジョアン・ミロ	<i>Bouquet de rêves pour Neila</i>	1967	リトグラフ・紙
24	レオノール・フィニ	『エルヴェティウス夫人の猫』	1985	エッチング・紙
25	ポール・ギアマン	『アルコール』	1966	リトグラフ・紙
26	アントニ・クラウヴェ	『吟遊詩人』	1970	リトグラフ・紙

# 時間をめぐって

【展示室 A 1 階】

本展覧会では、「時間」をキーワードに、作品がもつテーマやイメージを読み解きます。

痕跡として写し出される土地の歴史（露口啓二、岡部昌生）、時を刻みながら明滅する数字が表すたゆみない命の再生（宮島達男）、光と闇によって廃墟に浮かび上がる特定の場所や時代を超えた時間（池田良二）、不在の暗示が想起させる記憶（クリスチャン・ボルタンスキー）。写真、

版画、フロッタージュ、デジタルカウンター、ガラス、木彫など、多彩なメディアと手法、技法によって表現される作品の「時間」をめぐってください。作家の内面や思惟、歴史や社会への批判、普遍的な問いへのまなざしなどが、私たちを思索や創造へと導いてくれることでしょう。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	露口 啓二	地名 平取／Biratori／pira-utur（崖の・間=the cliffs, between）	2000（平成12）	タイプCプリント
2	露口 啓二	地名 乳呑／Chinomi／chi-nomi-sir（我ら・祈る・山=we, deify on the hill）	左:2002（平成14）右:2001（平成13）	タイプCプリント
3	露口 啓二	地名 小安／Oyasu／o-ya-us-i（川尻に・網が・ある・もの=river mouth, there are nets, river）	左:2001（平成13）右:2002（平成14）	タイプCプリント
4	露口 啓二	地名 若生／Wakkaoi／wakka-o-i（飲み水の・あるところ=drinking water, place）	2001（平成13）	タイプCプリント
5	露口 啓二	地名 声間／Koetoi／koy-tuye（波が・崩す=waves, erode away）	左:2001（平成13）右:2002（平成14）	タイプCプリント
6	露口 啓二	地名 来岸／Raikishi／sam-ray-ke-us-i（和人を・殺した・ところ=the Japanese, killed, place）	左:2001（平成13）右:2000（平成12）	タイプCプリント
7	露口 啓二	地名 祝津／Syukudu／sikutut-us-i（えぞねぎ=wild onion）	2001（平成13）	タイプCプリント
8	露口 啓二	地名 追名牛／Oinaushi／o-inau-us-i（そこに・木幣が・立っている=prayer utensils stand, <there>）	2002（平成14）	タイプCプリント
9	露口 啓二	地名 原口／Haraguchi／para-kot（広い・谷地=the cliffs, between=wide ravine）	2001（平成13）	タイプCプリント
10	露口 啓二	地名 発足／Hattari／kamuy-hattar（神の・淵=God's depths）	2001（平成13）	タイプCプリント
11	露口 啓二	地名 六条／Rokujuyo／ronkde-tomari（和船の・泊地=Japanese ships, port）	2001（平成13）	タイプCプリント
12	露口 啓二	地名 知利別／Chiribetsu／chir-pet（鳥の・川=bird river）	2001（平成13）	タイプCプリント
13	露口 啓二	地名 安骨／Ankotsu／chasi-kot（砦・跡=fort, site）	左:2002（平成14）右:2003（平成15）	タイプCプリント
14	露口 啓二	地名 信香／Nobuka／nup-ka-oma-nay（野の・上・にある・川=of the field, upper area, there is, river）	2001（平成13）	タイプCプリント
15	露口 啓二	地名 興津／Okotsu／o-ukot（川尻・互いに・くっつく=river mouths, stuck together）	左:2001（平成13）右:2003（平成15）	タイプCプリント

16	宮島 達男	Monism/Dualism No. 6	1999（平成11）	L.E.D.（発光ダイオード）、IC、電線、スチールパネル
17	瀧川 嘉子	境 KYOH No.53	1993（平成5）	ガラス、鉄、ステンレススチール：板ガラス、接着
18	岡部 昌生	THE DARK FACE OF THE LIGHT	2001（平成13）	フロッタージュ、鉛筆・紙、テープ、草花
19	池田 良二	Reborn door／再生される扉	1988（昭和63）	銅版・紙
20	池田 良二	Floating wall／浮上する壁	1988（昭和63）	銅版・紙
21	池田 良二	The stage on the parting point／分岐点の舞台	1988（昭和63）	銅版・紙
22	池田 良二	Light crossing border／越境する光	1991（平成3）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント・紙
23	池田 良二	Untitled A	1998（平成10）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント・紙
24	池田 良二	Untitled B	1998（平成10）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント・紙
25	池田 良二	Stratum of locus／所在の地層	2002（平成14）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙
26	池田 良二	Flame of circularity／円環する焰	2004（平成16）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙
27	池田 良二	Circle of breath／呼吸する円環	2005（平成17）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙
28	池田 良二	Flame of a channel／海峡の焰	2007（平成19）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙
29	池田 良二	Scenery of the north boundary／北境の風景について	2013（平成25）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙
30	クリスチャン・ボルタンスキー	モニュメント：デижョンの子どもたち	1987	写真、メタルフレーム、ガラス、電球、電線
31	中江 紀洋	流れついた過去	1994（平成6）	木、金属、石膏
32	中江 紀洋	宿世からの追伸	1979（昭和54）	木（サクラ、カツラ）
33	中江 紀洋	過去への夢	1994（平成6）	木、金属、石膏
34	中江 紀洋	地殻交信機	1976（昭和51）	木（サクラ、カツラ）